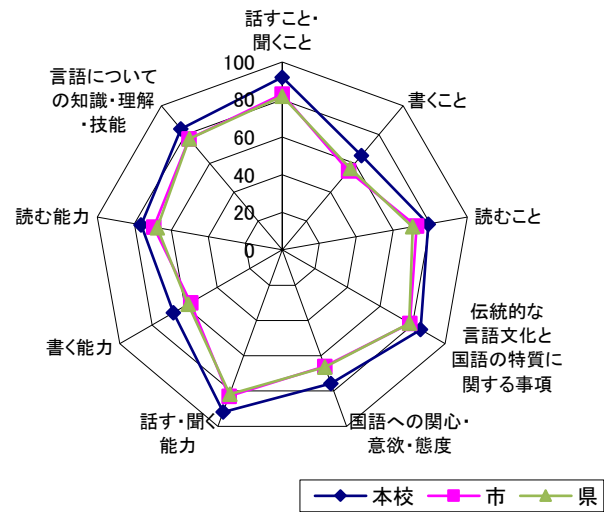


宇都宮市立横川中央小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 県    |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと            | 91.9 | 82.9 | 81.8 |
|     | 書くこと                 | 65.5 | 54.8 | 56.5 |
|     | 読むこと                 | 78.9 | 72.6 | 70.5 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 84.9 | 78.4 | 78.1 |
| 観点  | 国語への関心・意欲・態度         | 75.7 | 66.0 | 66.4 |
|     | 話す・聞く能力              | 91.9 | 82.9 | 81.8 |
|     | 書く能力                 | 66.9 | 56.3 | 57.9 |
|     | 読む能力                 | 76.3 | 69.5 | 67.6 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 84.0 | 77.2 | 77.1 |



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分                | 本年度の状況                                                                                                             | 今後の指導の重点                                                                                                                                      |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ○話すこと・聞くことの平均正答率は91.9%で県よりも10.1ポイント上回っている。特に、「話の中心に気をつけて聞き取ることができる」の正答率では、県を10.4ポイント上回った。                          | ・いろいろなテーマや話し方のパターン、条件付きスピーチなどで、話し方に慣れていくようにする。<br>・語句の意味を理解させる問題を解いたり、わからない語句をすぐに調べたりして、語彙力を高めていく指導をする。                                       |
| 書くこと                 | ○書くことの平均正答率は65.5%で県よりも9.0ポイント上回っている。<br>●すべての設問について正答率は県を上回っているが、「情報を適切に読み取り、ポスターの文を書くことができる」(記述式)では、正答率が50%を下回った。 | ・主語と述語の明確な文章を書く習慣をつける。<br>・いくつかの条件に当てはまる文章を書く学習を取り入れる。<br>・考えを書く際に、根拠を明確にする文章を書くようにする。                                                        |
| 読むこと                 | ○読むことの平均正答率は78.9%で県よりも8.4ポイント上回っている。<br>●「段落のまとまりを理解して、文章の内容を的確に読み取りことができる」(選択式)の正答率は他と比べても低く、県を0.1ポイント下回った。       | ・説明文の学習では、接続を意識し、前後の文章の関係を読み取れるような指導をしていく。                                                                                                    |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ○伝国の平均正答率は84.9%で県より6.8ポイント上回っている。<br>●「文の構成(連用修飾語)について理解している」の正答率は県よりは2.6ポイント上回っているが、47.6%と低い正答率であった。              | ・連用修飾語の働きについて、様々な文例を用いて、理解させるようにする。<br>・日常的に使用頻度の少ない漢字については、新出漢字として学習した時に短文作りなどを行い、意識的にその漢字を使用する機会を作っていくようにする。<br>・送りがなの付け方が身に付くよう、繰り返し練習を行う。 |
|                      |                                                                                                                    |                                                                                                                                               |